

人権作品で109人表彰

町長賞には古田さん(中)ら8人

町人権擁護推進協議会が募集した「人権作品」の表彰式が、十二月七日町見会館で行われ、古田加代さん(町見中)ら百九人が表彰されました。人権作品は、毎年町内の小学生から募集しているもので、今回は作文や標語などに三百三十七点の応募がありました。上位入賞された皆さんは次のとおりです。

町長賞

作文 得能健二(町見中)
標語 中村光一郎(九町小)
書道(硬筆の部) 上田佐和子(豊之浦小)

町人権擁護推進協議会長賞

作文 古田加代(町見中)
標語 高野房美(九町小)
書道(硬筆の部) 萩森まどか(伊方小)

町議会議長賞

作文 須賀中ゆかり(町見中)
標語 上田裕美(二見小)

教育委員長賞

作文 大谷孝治(伊方中)
標語 加藤文香(水ヶ浦小)
書道(硬筆の部) 田中孝明(有寿来小)

人権擁護委員 伊方部会長賞

作文 得能健二(町見中)
標語 中村光一郎(九町小)
書道(硬筆の部) 上田佐和子(豊之浦小)



福祉手当が廃止

今年4月から新制度に

年金制度が改正され、障害年金、障害福祉年金などが「障害基礎年金」として一元化されます。これに伴い、現行の福祉手当は昭和六十一年三月をもって廃止され、四月からは「特別障害者手当」、「障害児福祉手当」の制度が実施されます。

制度の概要は次のとおりです。詳しくは役場福祉課へお尋ねください。

特別障害者手当
(受給資格) 日常生活において常時特別の介護を要する状態にある二十歳以上の人。ただし施設等に入所している人、医療機関に三ヵ月以上入院している人、本人及び扶養義務者等の所得が一定額以上の人は除きます。

障害児福祉手当
(受給資格) 日常生活において常時の介護を要する二十歳未満の児童。ただし施設等に入所している人、本人及び扶養義務者等の所得が一定額以上の人は除きます。

障害者手当
(手当の額) 月額一万一千二百五十円。ただし変更される場合があります。

申請手続 特別障害者手当と同じです。

福祉手当を受けている人
(一)現在福祉手当を受けている二十歳以上(昭和六十一年四月一日現在で二十歳になる人を含む。以下同様)の人で、昭和六十一年四月から「障害基礎年金」か「特別障害者手当」のいずれかを受けることができる人については、昭和六十一年三月をもって福祉手当の支給はなくなり、四月から「特別障害者手当」も受けられませんが、申請手続は一月から行うことができます。早くに手続を済ませたい場合は、(その他) 特別障害者手当は、現在福祉手当を受けている二十歳未満の人については、昭和六十一年四月から現在の福祉手当が自動的に「障害児福祉手当」に切り替わりますから手続は不要です。

お礼
神戸市東灘区住吉本町三丁目六-六にお住いの兵頭よし子さん(伊方越出身)から一万円。

別府市立田町三の二五にお住いの渡辺ミヤさん(川永田出身)から一万円。
それぞれ広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

発生件数	68件
(12月)	3件
負傷者数	22人
(12月)	1人

道路交通法が改正され、昨年九月からシートベルトの着用が義務付けられました。町内でも徐々に着用率が向上していき、着用していない人もときどき見かけます。

また、今年七月からはミニバイクのヘルメット着用制度も始まります。自分の体を守る防具です。決まりを守り、事故のない年にしたいものです。

伊方・町見駐在所

昭和60年12月1日現在
世帯数2,609戸(-1戸)

人の動き

8,609人 {男4,165人(-8人)}
(-19人) {女4,444人(-11人)}

えんむすび
昭和60年11月1日
11月30日

お誕生おめでとう
よこ子に育ってください
昭和60年11月1日
11月30日

おくやみ
昭和60年11月1日
11月30日

こちら編集室

わたしたちの地球が属する銀河系には、太陽のような恒星が四十億個あって、そのうちの三分の一には、地球や火星のような惑星が付随しています。その数の平均を十個と仮定しますと、銀河系だけで一兆三千億個の惑星があることになりました。

広大にして無数、無限。大宇宙の片すみにも、わたしたちの地球が青く輝いています。

ところで、今話題のハレー彗星。二月から三月ごろにかけて地球に最も接近するそうです。本町でも南東方向の空にガス状の尾を引いたハレーが見えるという事です。七十六年に一回のロマンを築しんでみてはいかがでしょう。

今年もよろしくお願いたします。